

# 日本の宝は、 日本の子供です。

徹底した子育て支援未来への投資  
若者世代、子育て世代への  
集中した支援策により  
少子化問題と人口減少を  
食い止めます。

 **日本第一党** 公認 **上越市担当**  
JAPAN FIRST PARTY

**菅原**<sup>すがわら</sup>**みゆき**

- ① 日本国籍の全市民に地元企業で使える商品券配布
- ② ひとり親世帯の子育て支援に収入制限撤廃
- ③ 給付型奨学金制度制定
- ④ 地元企業就職者の自動車免許取得費用の補助
- ⑤ 上越市立小・中学校の給食費完全無償化

# 菅原みゆきからのメッセージ①

## 【食の安全を考える】

上越市民のみなさま、日本第一党上越地区担当の菅原みゆきでございます。

このメッセージは私、菅原みゆきの考えを皆様に知っていただく読み物になっております。

私は、2年前の上越市議補欠選挙に出馬いたしました。その時の第一の公約は、「食の安全」を掲げました。それは、近年の食糧事情に不安をおぼえたからです。

遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品、聞きなれない食品がマーケットに並ぶ日が近いのか？ 精肉売り場では、アメリカ産の牛肉が、鮮魚売り場ではやはりアメリカ産の魚が並べられ、日本は海に囲まれている国なのになぜ、輸入の魚をと違和感がありました。

人間の身体を作るのは、食物です。大切な食物を外国からの輸入に頼って良いはずがありません。欧米の先進国 特にアメリカは農家への補償100%です。農家は安心して専業農家として生計を立てることが出来ます。なぜ、農家に優遇するのか？

「食を制するものは世界を制する」という言葉があります。この言葉の意味が分かっているまさに覇権国家アメリカの考えです。戦争は兵器を用いてドンパチするだけではありません。輸入の食物に依存した国が、輸入を止められたら依存国の国民は餓死します。

今の日本の状況はまさにその依存国になっているのです。カロリーベースの食糧自給率は当てになりません。野菜の種・苗は80%近く海外からの輸入品です。

意図的に日本への輸入が止まれば、日本人は餓死します。

だから、私はせめて日本の主食である米、米農家を守り、次世代に米作りのノウハウを継承しなければならないと考えております。

それにはまず、米農家が専業で生計を立てることが出来るよう補償の拡充です。上越市は米の生産に適しています。

安定した暮らしを約束することにより農業を継ぐ若者が増え、職と食と土地を守る事ができると考えます。

食の安全を守ることは上越市民を守ることになります。



発行元：日本第一党 菅原みゆき後援会

〒943-0894 新潟県上越市上昭和町1番3号 TEL. 025-522-5328



<https://japan-first.net>